

第**67**期 第2四半期報告書 平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社第67期第2四半期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、各国当局の金融安定化策や景気刺激策により、経済状況が底入れする兆しが見えつつありますが、依然厳しい状況が続いております。

主要取引先であります自動車業界においても、期初には、大幅な販売台数の落ち込みがありました。在庫調整の進展やエコカー減税などの新車購入促進策により、環境対応車を中心として、需要回復の兆しが見えてまいりました。

このような環境の中にあって、当社グループは生産性の向上、原価低減及び経費削減の活動を推進し、企業体質の強化を図ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,918百万円（前年同期比28.1%減）となりました。利益につきましては、経常利益は780百万円（前年同期比54.5%減）、四半期純利益は85百万円（前年同期比89.2%減）となりました。

なお、中間配当につきましては、11月13日の取締役会におきまして、1株につき4円と決定いたしましたので、お受取りくださいますようお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

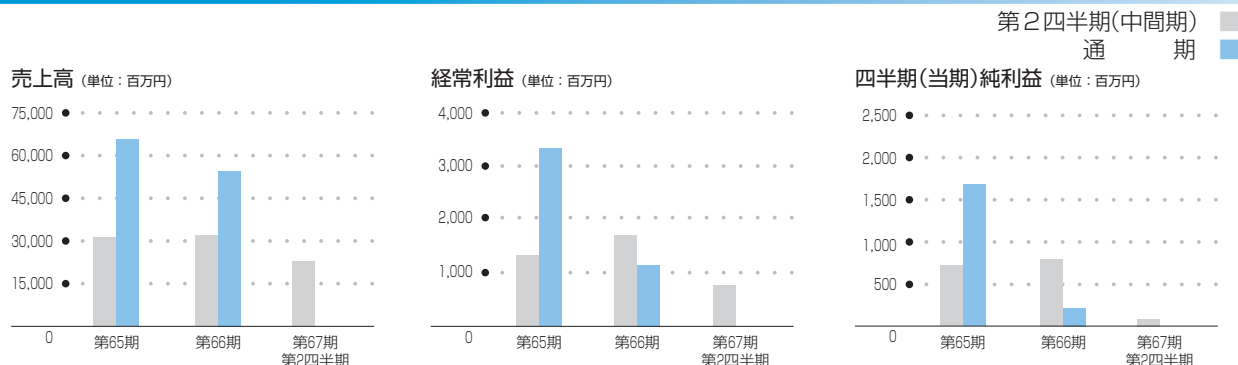
平成21年12月

代表取締役社長 **村上太郎**

CONTENTS

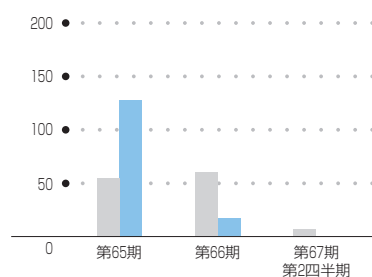
P 1	株主の皆様へ
P 2	決算ハイライト
P 3	セグメント別概況
P 4	今後の課題と経営戦略・トピックス
P 5	四半期連結財務諸表
P 7	国内外関係会社拠点
P 8	株式の概況
P 9	会社の概況

決算ハイライト

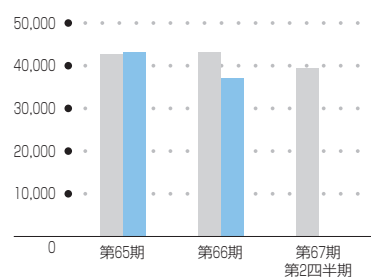


	第65期 (平成20年3月期) 中間期	第65期 (平成20年3月期) 通期	第66期 (平成21年3月期) 第2四半期	第66期 (平成21年3月期) 通期	第67期 (平成22年3月期) 第2四半期
売上高 (百万円)	31,754	66,003	31,854	55,047	22,918
経常利益 (百万円)	1,351	3,347	1,714	1,156	780
四半期(当期)純利益 (百万円)	713	1,675	795	218	85

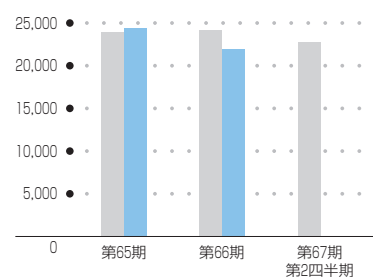
1株当たり四半期(当期)純利益 (単位: 円)



総資産 (単位: 百万円)



純資産 (単位: 百万円)



	第65期 (平成20年3月期) 中間期	第65期 (平成20年3月期) 通期	第66期 (平成21年3月期) 第2四半期	第66期 (平成21年3月期) 通期	第67期 (平成22年3月期) 第2四半期
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	54.63	128.29	60.94	16.76	6.57
総資産 (百万円)	42,865	43,495	43,416	37,514	39,612
純資産 (百万円)	24,005	24,541	24,317	22,121	22,933

※ 第65期の中間期の数値は、参考として記載しております。

セグメント別概況

ミラーシステム事業部門

自動車関連分野

自動車業界におきましては、米国・欧州での大幅な市場縮小に加え、BRICsなどの新興国市場も成長が鈍化するなど、世界の自動車市場は拡大基調から減少へと転じました。現在、一部地域（中国・インド）では回復の兆しが見えておりますが、世界全体として先行き不透明な状況は変わっておりません。

また、日本におきましては、在庫調整の進展・新車購入促進策などにより、需要回復の兆しは見えつつありますが、国内の自動車生産数は前年同期に対して大きく減少いたしました。

これらの環境の中、自動車用バックミラーを主力製品としている自動車関連分野におきましては、収益改善のための体質強化、技術開発力の向上に取り組んでまいりましたが、以上のとおり、世界的な販売不振による車両の生産台数の下落を受け、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

オプトロニクス関連分野

オプトロニクス関連分野でも、世界経済の低迷により、事業の主幹である光学薄膜、薄型テレビ用スタンドとも、厳しい環境におかれ、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

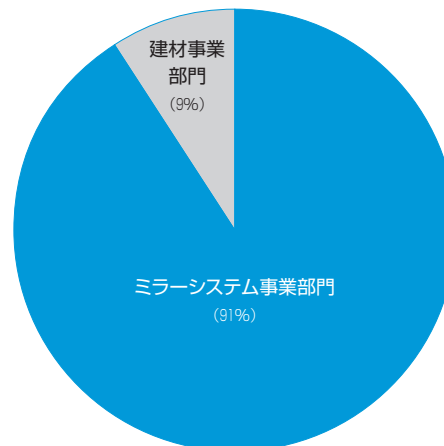
以上の結果、当事業部門の売上高は、20,892百万円（前年同期比29.6%減）となりました。

建材事業部門

建設業界におきましては、不動産市況の悪化が続く中、前年同様、住宅着工件数の減少が止まらないなど厳しい環境の中での経営が続いております。

このような状況の中、ガラス、サッシ等住宅建材の卸販売と工事を中心とした当事業部門では、お客様に対する提案力の強化と資源の集中、業務の効率化などの原価低減活動により、利益の出る体質の確立に努めてまいりましたが、当事業部門の売上高は2,026百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

●事業の種類別セグメント売上高



今後の課題と経営戦略・トピックス

今後の課題と経営戦略

今後の経済見通しにつきましては、世界経済の長期的低迷の底打ち感、直近での国内経済のプラス成長と、回復の兆しが見えているものの、円高リスク、雇用問題やデフレによる経済への悪循環等、先行きの不透明感は続く見込みとなっております。

このような状況の中で、自動車関連分野では、引き続き自動車メーカー各社の生産量の変動に迅速に対応し、国内外の生産体制の適正化、効率化を図ってまいります。また、徹底した原価低減活動を展開し原価を引き下げるとともに、設計技術力及び製造技術力を一層強化育成し、お客様のニーズを先取りした高品質・高付加価値な新製品開発に努めることで、バックミラーをはじめとする自動車用安全視認システムメーカーとして、世界トップレベルのサプライヤーを目指してまいります。

海外におきましては、アジア拠点（中国）での生産力の拡充に努めるとともに、北米拠点であるムラカミマニュファクチャリングUSA株式会社の収益性の改善に引き続き取り組んでまいります。

オプトロニクス関連分野につきましては、ものづくりの基本である品質を第一とし、コスト競争力強化に向けた設計開発を行い、中国の協力会社とともに原価の改善を進め、事業拡大を図ってまいります。

建材事業部門では、市場規模の拡大が期待できない中でも、収益性を重視し、当社グループ全体の経営資源の活用、業務の選択と集中を推進していくことで安定収益の確保と事業の高付加価値化を目指してまいります。

トピックス

平成21年4月から9月の新車乗用車販売について

平成21年4月から9月の新車乗用車販売ランキング（社団法人日本自動車販売協会連合会調べ）の上位10車種中7車種で、当社のバックミラーが搭載されております。

【上位10車種中当社バックミラー搭載車種】

プリウス・パッソ・ウィッシュ・カローラ（トヨタ）

インサイト・フリード（ホンダ）

セレナ（日産）

※順不同

※輸入車及び軽自動車を除く

※通称名については同一車名のを合算して集計

■ 製品紹介

● インジケーター付インナーミラー



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 平成20年9月30日現在	当第2四半期 平成21年9月30日現在	前期 平成21年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	20,887	18,312	16,030
現金及び預金	6,489	6,286	5,266
受取手形及び売掛金	10,184	8,478	6,715
商品及び製品	773	819	659
仕掛品	566	489	558
未成工事支出金	367	327	254
原材料及び貯蔵品	1,470	1,208	1,338
繰延税金資産	634	516	540
その他	519	301	800
貸倒引当金	△ 119	△ 116	△ 105
固定資産	22,529	21,300	21,483
有形固定資産	17,689	17,189	17,501
建物及び構築物	4,092	3,792	3,818
機械装置及び運搬具	4,887	5,179	5,322
工具、器具及び備品	1,634	1,212	1,519
土地	5,583	6,318	6,288
リース資産	255	245	200
建設仮勘定	1,236	439	352
無形固定資産	709	566	578
投資その他の資産	4,130	3,544	3,403
投資有価証券	2,705	2,193	1,822
繰延税金資産	817	809	992
その他	641	545	612
貸倒引当金	△ 34	△ 4	△ 23
資産合計	43,416	39,612	37,514

科目	前第2四半期 平成20年9月30日現在	当第2四半期 平成21年9月30日現在	前期 平成21年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	15,797	12,448	11,398
支払手形及び買掛金	8,399	6,612	5,955
短期借入金	2,886	2,366	2,326
未払法人税等	615	502	108
製品保証引当金	575	356	486
賞与引当金	779	668	614
役員賞与引当金	15	20	—
その他	2,525	1,920	1,908
固定負債	3,301	4,230	3,994
長期借入金	364	1,403	1,150
退職給付引当金	1,581	1,507	1,515
役員退職慰労引当金	884	902	922
その他	471	416	405
負債合計	19,098	16,678	15,392
(純資産の部)			
株主資本	21,753	21,131	21,111
資本金	3,165	3,165	3,165
資本剰余金	3,528	3,528	3,528
利益剰余金	15,095	14,474	14,453
自己株式	△ 35	△ 36	△ 36
評価・換算差額等	1,139	395	△ 286
その他有価証券評価差額金	1,067	744	519
為替換算調整勘定	71	△ 349	△ 805
少数株主持分	1,424	1,407	1,296
純資産合計	24,317	22,933	22,121
負債純資産合計	43,416	39,612	37,514

四半期連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期	前期
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
売上高	31,854	22,918	55,047
売上原価	27,384	19,876	48,608
売上総利益	4,469	3,042	6,438
販売費及び一般管理費	2,958	2,410	5,503
営業利益	1,511	631	935
営業外収益	267	212	396
営業外費用	64	64	175
経常利益	1,714	780	1,156
特別利益	8	10	48
特別損失	209	2	240
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,513	787	964
法人税等	527	585	443
少数株主利益	189	116	302
四半期(当期)純利益	795	85	218

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期	前期
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,776	1,756	3,977
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,882	△ 1,171	△ 5,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 68	179	125
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 265	159	△ 570
現金及び現金同等物の増減額	△ 438	923	△ 1,552
現金及び現金同等物の期首残高	6,525	5,228	6,525
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	255	—	255
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	6,341	6,152	5,228

国内外関係会社拠点 (平成21年9月30日現在)

株式会社村上開明堂精機

茨城県常総市鴻野山1422-1

株式会社湘南光膜研究所

東京都品川区戸越1丁目27番23号

嘉興村上石崎汽车配件有限公司 (MIC)

浙江省嘉興經濟開發区正原路280号



Murakami Manufacturing U.S.A.Inc. (MMUS)

575 Water Tower Bypass, Campbellsville,
Kentucky 42718

株式会社村上開明堂

株式会社村上開明堂化成

株式会社村上開明堂ビジネスサービス

静岡県静岡市駿河区宮本町12番25号

株式会社村上開明堂建材

株式会社村上開明堂テクノ

静岡県静岡市葵区流通センター14番3号

株式会社エイジー

静岡県焼津市柳新屋77番地

株式会社村上開明堂九州

福岡県朝倉市烏集院字申掛660番地1

村上開明堂(香港)有限公司

香港九龍官塘鴻圖道64號1字樓

MURAKAMI AMPAS (THAILAND) CO.,LTD. (MATCO)

531 Moo 4, Bangpoo Industrial Estate,
Tambol Praekasa, Amphur Muang Samutprakarn,
Samutprakarn 10280



Murakami Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd. (MMT)

1,Rojana Industrial Park, Moo 5,
Tambol U-Thai, Amphur U-Thai,
Pranakorn Sir Ayutthaya 13210



Murakami Saikyu (Thailand) Co., Ltd. (MST)

826/5 Moo 4, Bangpoo Industrial Estate,
Tambol Praekasa, Amphur Muang Samutprakarn,
Samutprakarn 10280



株式の概況 (平成21年9月30日現在)

株式の状況

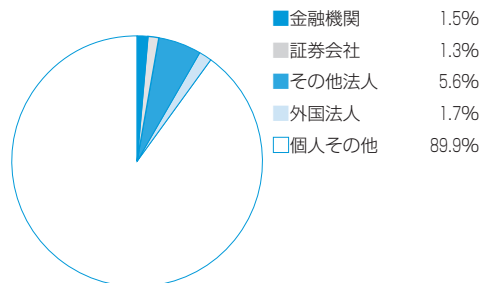
発行可能株式総数	29,900,000株
発行済株式の総数	13,100,000株
株主数	985名

大株主

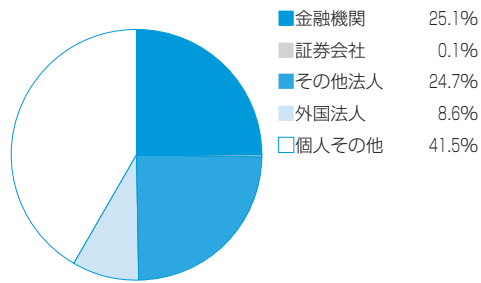
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
村上英二	1,488	11.3
旭硝子株式会社	1,239	9.4
株式会社豊英社	1,030	7.8
ビービーエイチ フォー ファイデリティイー ロープライス ストック ファンド	800	6.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	647	4.9
村上開明堂社員持株会	627	4.7
村上太郎	539	4.1
株式会社静岡銀行	459	3.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分・CMTB エクイティインベストメント株式会社信託口)	459	3.5
明治安田生命保険相互会社	447	3.4

(注) 表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●所有者別株主数



●所有者別株式数



会社の概況 (平成21年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社村上開明堂
設立	昭和23年3月27日
資本金	3,165,445,000円
発行済株式総数	13,100,000株
事業内容	自動車用バックミラー、ファインガラスの製造、販売 ガラス、鏡、サッシの販売、加工、施工
従業員数	連結：2,581名

役員

取締役会長 (代表取締役)	武藤忠義
取締役社長 (代表取締役)	村上太郎
専務取締役	杉本由朗
常務取締役	伊藤寧俊
常務取締役	小川忠彦
常務取締役	岩邊直人
取締役相談役	村上英二
取締役	川本正則
取締役	杉浦正己
取締役	青山芳博
取締役	吉村勝行
取締役	豊長敬治
取締役	鈴木敏行
取締役	池谷道雄
取締役	増井邦夫
取締役	奥野雅治
監査役 (常)	吉村安巨
※監査役	小室太郎
※監査役	齋藤安彦
※監査役	神谷聰一郎

事業所

本社	静岡県静岡市駿河区宮本町12番25号
営業所	流通センター事業所 (静岡県静岡市) 東京支店 (東京都葛飾区)
工場	藤枝事業所 (静岡県藤枝市) 焼津事業所 (静岡県焼津市) 大井川事業所 (静岡県藤枝市)

国内子会社

会社名	資本金 (百万円)	当社の議決権比率 (%)
株式会社村上開明堂九州	250	100.0
株式会社湘南光膜研究所	50	100.0
株式会社村上開明堂テクノ	40	100.0
株式会社村上開明堂化成	20	100.0
株式会社村上開明堂精機	17	100.0
株式会社エイジー	10	100.0
株式会社村上開明堂建材	10	100.0
株式会社村上開明堂ビジネスサービス	10	100.0

海外子会社

会社名	資本金	当社の議決権比率 (%)
ムラカミニューファクチャリングUSA株式会社	千米ドル 40,000	100.0
嘉興村上石崎汽车配件有限公司	千米ドル 6,000	70.0
ムラカミニューファクチャリング(タイランド)株式会社	千パーツ 180,000	100.0
嘉興村上開明堂汽车配件有限公司	千米ドル 3,700	100.0
ムラカミアンバス(タイランド)株式会社	千パーツ 100,000	49.9
村上開明堂(香港)有限公司	千香港ドル 15,198	100.0
ムラカミサイキュー(タイランド)株式会社	千パーツ 39,000	90.0

(注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。
<http://www.murakami-kaimeido.co.jp/uslr/koukoku>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

(お知らせ)

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
 - ・未払配当金の支払について株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
 - ・上場株式配当等の支払に関する通知について租税特別措置法の平成20年度改正（平成20年4月30日法律第23号）により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。配当金領収証にてお受取りの株主様は、年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は、配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際、その添付資料としてご使用いただくことができます。
- フリーダイヤル
0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)
 - ホームページ
http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html



株式会社 村上開明堂
〒422-8569 静岡県静岡市駿河区宮本町12番25号
ホームページ <http://www.murakami-kaimeido.co.jp/>